

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成 29年 6月 10日

福井県知事 殿

提出者

住所 和歌山県和歌山市宇須4丁目4番6号

氏名 スガイ化学工業株式会社

代表取締役社長 武田 晴夫
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 075-422-1174

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	スガイ化学工業株式会社 福井事業所
事業場の所在地	福井市石橋町29-75-1
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E-16 (化学工業)
②事業の規模	資本金25.1億円 生産高25.8億円 (平成28年度福井事業所実績)
③従業員数	74名 (平成29年3月末)
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・分離排液→排水処理工程又は、外部処理 ・回収溶剤→蒸留回収→蒸留釜残外部処理 ・排液→中和→生物処理→汚泥→外部処理 ・排液→廃液燃焼

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
 総括責任者：(所長)
 特別管理産業廃棄物管理責任者：(管理課員)
 廃棄物担当者：管理課員2名

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙①のとおり	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙①のとおり	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃棄物の分別を行ない、他の廃棄物が混入しないように保管
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 上記に加え、引火性廃油の種類別での分別を実施予定。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 28年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	t
		t
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t
		t

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 28年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 設備能力を最大限に活用し中間処理を行なう。	112 t
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組) 発生する廃棄物の種類、処理方法を整理し、中間処理量を増やし減量化を図る。	120 t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 28年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙②のとおり
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組)	

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙②のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			

別紙①

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(28年度) 実績】				
	産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ	汚泥	引火性廃油
	排出量	178 t	14 t	0.1 t	421 t
	(これまでに実施した取り組み) 発生抑制のため工程内リサイクルを推進				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ	汚泥	引火性廃油
	排出量	170 t	15 t	0.1 t	500 t
	(今後実施する予定の取り組み) 既存製品の工程改良による廃棄物減少を図り、併せて今後導入する新品目については、廃棄物量の少ないプロセスの開発を目指す。				

別紙②

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 28年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ	汚泥	引火性廃油
	全処理委託量	178 t	14 t	0.1 t	309 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>業者を選定するとともに、委託基準やマニフェスト交付義務等の法令を遵守した上で処理を委託。</p>					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ	汚泥	引火性廃油
	全処理委託量	170 t	15 t	0.1 t	380 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>当該委託業者について定期的に現地確認するよう努める。</p>					